

高知市立朝倉第二小学校

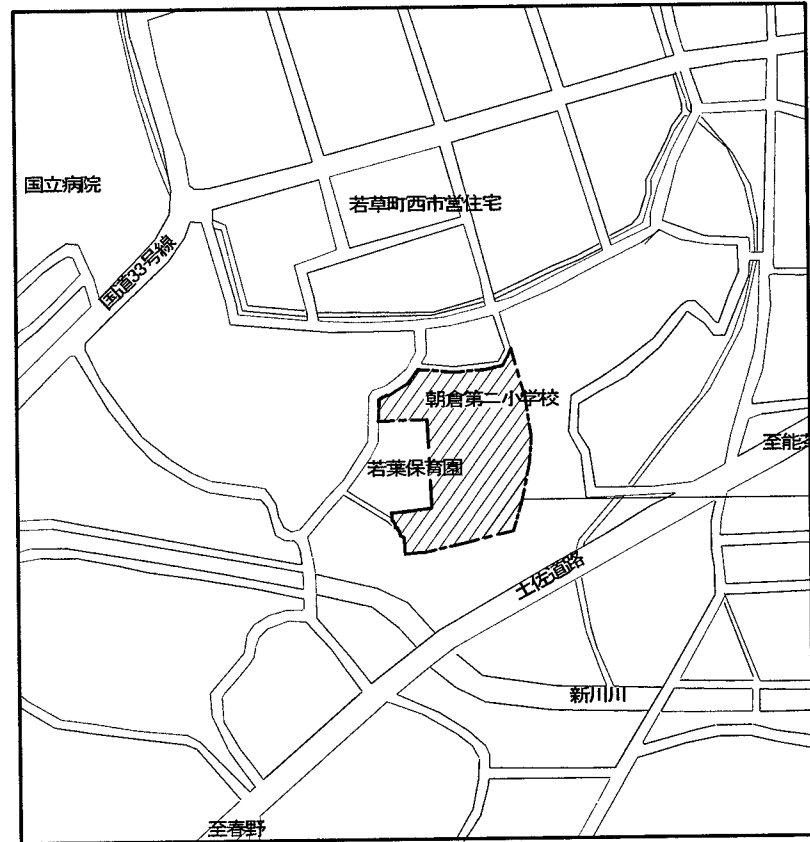
給食調理場耐震補強に伴う機械設備工事

図面目次

図面番号	図面名称	縮尺
M - 01	特記仕様書（１）	NOSCALE
M - 02	特記仕様書（２）	NOSCALE
M - 03	配置図・附近見取図・工事概要	１：５００
M - 04	【給排水衛生設備】 厨房平面図（現況・撤去図）	１：１００
M - 05	【給排水衛生設備】 厨房平面図（改修図）	１：１００
M - 06	【給排水衛生設備】 厨房平面詳細図（現況・撤去・改修図）	１：５０
M - 07	【換気設備】 換気機器リスト	NOSCALE
M - 08	【換気設備】 厨房平面図（現況・撤去図）	１：１００
M - 09	【換気設備】 厨房平面図（改修図）	１：１００

[illegible]

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																																																																																																																																																						
機械設備特記事項																																																																																																																																																																											
① 標識その他	※ 配管表記 (1.1.7.4準拠) [1.1.8.5準拠] a) 機械室・ビット・P S 内・天井点検口・配管分岐場所には必ず表記する。 b) 表記内容は、流体・サイズ・系統名とし、場所・向き・文字サイズ等事前協議決定後に施工する。 c) 配管の識別は、原則として J I S Z 9 1 0 2 によるものとし、識別方法・色合いは監督職員の指示による。 ※ 機器表記 (該当する主要機器は事前に確認する。) a) 設計記号の付いている主要機器には、カッティングシート等にて表記 (管理番号・室名・設置年月等) を行う。 b) パッケージエアコン等の空調機は、室内機だけでなく室外機にも表記を行う。 c) 水中に設置する各種主要機器類は銘板 (製造社名・製造年月・型番・性能等) を壁付近にも設ける。 ※ 弁には、開閉等を記入したアクリル札を付け、風で飛んだり騒音を立てないように固定するか、表示方法を協議する。 ※ 埋設弁ボックスには、内部に系統名・管サイズ・設置年月を書いたアクリル札を入れる。 ※ 埋設弁ボックスの蓋は、流体の行き先側に蓋の付根を付ける。 ※ 排水以外の屋外埋設管には、曲がり・分岐部・その他埋設管の位置が確認できるように地中埋設標を設ける。 ※ 排水以外の屋外埋設管の埋戻し時には、G L ー 1 5 0 mm 程度に埋設表示用アルミテープを埋設する。	⑪ メカニカル継手 ※ メカニカル継手は伸縮可とう・漏脱防止性能を有し、内外面エポキシ粉体塗装を施したものとする。 ※ 改修工事等で鋼管類 (ライニング鋼管) を切断して、やむを得ずメカニカル継手を使用する場合には、切断部の防錆処理として、J A W W A K 1 3 5 規格適合品にて処置する。 ※ 原則として下図に倣う。詳細は国土交通省仕様による。 (2.2.6.3準拠) [2.2.4.3準拠] <table> <tr> <th colspan="2">横走り管の吊り及び振れ止め最大支持間隔</th><th colspan="10">呼び径</th></tr> <tr> <th colspan="2">分類</th><th>15</th><th>20</th><th>25</th><th>32</th><th>40</th><th>50</th><th>65</th><th>80</th><th>100</th><th>125</th></tr> <tr> <td rowspan="2">吊り金物による吊り</td><td>鋼管等</td><td colspan="5">2.0m</td><td colspan="5">3.0m</td></tr> <tr> <td>ビニル管等</td><td colspan="5">1.0m</td><td colspan="5">2.0m</td></tr> <tr> <td rowspan="2">形鋼振れ止め支持</td><td>鋼管等</td><td colspan="3">—</td><td colspan="3">8.0m</td><td colspan="4">12m</td></tr> <tr> <td>ビニル管等</td><td colspan="3">—</td><td colspan="3">6.0m</td><td colspan="4">12m</td></tr> </table> <table> <tr> <th colspan="3">立て管の固定及び振れ止め箇所</th></tr> <tr> <td>固定</td><td>鋼管等</td><td>最下階の床又は最上階の床</td></tr> <tr> <td rowspan="2">形鋼振れ止め支持</td><td>鋼管等</td><td>各階 1 箇所</td></tr> <tr> <td>ビニル管等</td><td>各階 1 箇所</td></tr> </table> ※ 国土交通省仕様どおりにより吊り配管等を施工しても、他の資材配管等と干渉する場合は振止めを適宜設ける。 ※ 屋外等で吊り金物による施工ができない場合には、プラケット等にて配管及び配管付属品を支持し、配管荷重による管の移動を抑える。 ※ 契約量水廻りまでの埋設給水管及び埋設ガス管は管の周囲 1 0 0 mm 程度に保護砂を入れる。 ※ 契約量水廻り以降の埋設給水管及び埋設消火管は簡易保温管で巻く。 ※ 排水管は管が移動しないように中心程度まで埋戻す。ただし、土圧及び上載荷重が管きよの耐荷重を超える場合は、遮断用砂で巻立て、外圧に対して管きよを保護する。 (2.2.7.1準拠) [2.2.5.1準拠] [下水道排水設備指針と解説] 管の地中埋設深さは、原則として車両道路では管の上端より 6 0 0 mm 以上、それ以外では 3 0 0 mm 以上とする。ただし、寒冷地では凍結深度以上とする。 (2.2.7.2) [2.2.5.2] ※ 鋼管、鉛管のコンクリート内配管にはプラスチックテープ 1 / 2 重ね 1 回巻きとする。 (2.2.7.3準拠) [2.2.5.3準拠] ※ 地中に埋設する铸铁管・铸铁異形管・メカニカル継手・特殊継手類にはポリエチレンスリーブ等の被覆を講じること。 (給水装置工事施工要領)	横走り管の吊り及び振れ止め最大支持間隔		呼び径										分類		15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	吊り金物による吊り	鋼管等	2.0m					3.0m					ビニル管等	1.0m					2.0m					形鋼振れ止め支持	鋼管等	—			8.0m			12m				ビニル管等	—			6.0m			12m				立て管の固定及び振れ止め箇所			固定	鋼管等	最下階の床又は最上階の床	形鋼振れ止め支持	鋼管等	各階 1 箇所	ビニル管等	各階 1 箇所	⑫ 埋設深さ ⑬ 埋設管の保護 ⑭ 埋設深さ 15 防食措置 ⑮ 保温工事 <table> <tr> <th colspan="2">保温の種別</th><th colspan="6">場所</th><th rowspan="2">備考</th></tr> <tr> <th>工種</th><th></th><th>屋内露出</th><th>機械室・倉庫</th><th>天井・P S 内</th><th>床下暗渠内</th><th>屋外露出</th><th>屋外埋設</th></tr> <tr> <td>給水</td><td>給水</td><td>e2 (n) VII</td><td>± (n) VII</td><td>e2 (n) VII</td><td>± (n) VII</td><td>e2 (n) VII</td><td>(-)</td><td rowspan="2">屋内空調用ドレン管は保温材付き</td></tr> <tr> <td>排水</td><td>排水</td><td>e2 (n) I</td><td>± (n) I</td><td>e2 (n) I</td><td>± (n) I</td><td>e2 (n) I</td><td>± (n) I</td></tr> <tr> <td>給湯</td><td>給湯</td><td>e2 (n) I</td><td>± (n) I</td><td>e2 (n) I</td><td>± (n) I</td><td>e2 (n) I</td><td>± (n) I</td><td rowspan="2">断熱材被覆鋼管の場合</td></tr> <tr> <td>冷媒管</td><td>冷媒管</td><td>± (n) VII</td><td>± (n) VII</td><td>± (n) VII</td><td>± (n) VII</td><td>± (n) VII</td><td>± (n) VII</td></tr> <tr> <td>矩形ダクト</td><td>矩形ダクト</td><td>J1 (n) X I</td><td>± (n) X I</td><td>± (n) X I</td><td>-</td><td>K3 (n) X I</td><td>-</td><td rowspan="2">保温材の厚さは各工種に準拠</td></tr> <tr> <td>丸形ダクト</td><td>丸形ダクト</td><td>O1 (n) X I</td><td>± (n) X I</td><td>N (n) X I</td><td>-</td><td>P3 (n) X I</td><td>-</td></tr> <tr> <td>弁・継手類</td><td>弁・継手類</td><td>a (n)</td><td>± (n) I</td><td>e2 (n) I</td><td>± (n) I</td><td>e2 (n) I</td><td>-</td><td></td></tr> <tr> <td colspan="2">(イ) ロックウール保温材 (ロ) グラスウール保温材 (n) ポリスチレンフォーム保温材 (ニ) 簡易保温管 1 0 mm (ハ) 簡易保温管 2 0 mm (n) 簡易耐熱保温管 1 0 mm (ヒ) 簡易耐熱保温管 2 0 mm</td><td colspan="6">設計図面に個別の記載があるものについてはこれによらない。 (2.3.1.1準拠) [2.3.1.1準拠]</td><td></td></tr> </table> ⑯ 塗装 ⑰ はつり工事 ⑱ 非破壊検査 ⑳ あと施工アンカー 21 パッケージ形空調機 機器仕様 a) グリーン購入法調達基準適合品とし、各メーカーの最高効率機種とする。 b) 室外機仕様 - J R A 耐重塩害仕様 - 耐塩害仕様 - 防振架台 - 転倒防止金物 - 高調波対策仕様 c) 室内機仕様 - ドレンアップメカ - 自動昇降パネル - 防振装置 - 振止め金物 工事仕様 a) ドレンアップメカにより排水する場合は、機器直近にて鳥居状に配管し、立下り部直上に掃除口を設ける。 b) 配管化粧カバーは、エンドキャップを使用しテープ巻きの範囲を最小限とし、ジャバラ部材は使用しない。 c) 配管化粧カバー・配管ラッキングは室外機の前直まで施す。 d) 室内機及び室外機への電源送りは電気設備工事とし、室外機間の渡り電気配線及び室外機一室内機間の電気配線 (アース含む) は配管、配線共本工事とする。渡り配線で、冷暖配管と同じルートに施工する場所は同配管外装内に納める。 空調ダクト材料 - 亜鉛鉄板製 - 硬質ポリ塩化ビニル管 (V U) - ステンレス製 換気ダクト材料 - 亜鉛鉄板製 - 硬質ポリ塩化ビニル管 (V U) - ステンレス製 屋外フード ウェザーカバーはステンレス製・水切り付きとし、ペンドキャップはステンレス製・深型・水切り付きとする。 原則として、排気用には防鳥網、給気用には防虫網を設ける。 ・ 浄化槽の使用開始後概ね 3 ヶ月間の試運転調整を行う。浄化槽法による「保守点検及び清掃等」のほか下記の事項による。 a) 最低限の点検回数は、小型・沈殿分離方式は月に 1 回、流量調整槽のある場合は 2 週に 1 回とする。	保温の種別		場所						備考	工種		屋内露出	機械室・倉庫	天井・P S 内	床下暗渠内	屋外露出	屋外埋設	給水	給水	e2 (n) VII	± (n) VII	e2 (n) VII	± (n) VII	e2 (n) VII	(-)	屋内空調用ドレン管は保温材付き	排水	排水	e2 (n) I	± (n) I	e2 (n) I	± (n) I	e2 (n) I	± (n) I	給湯	給湯	e2 (n) I	± (n) I	e2 (n) I	± (n) I	e2 (n) I	± (n) I	断熱材被覆鋼管の場合	冷媒管	冷媒管	± (n) VII	± (n) VII	± (n) VII	± (n) VII	± (n) VII	± (n) VII	矩形ダクト	矩形ダクト	J1 (n) X I	± (n) X I	± (n) X I	-	K3 (n) X I	-	保温材の厚さは各工種に準拠	丸形ダクト	丸形ダクト	O1 (n) X I	± (n) X I	N (n) X I	-	P3 (n) X I	-	弁・継手類	弁・継手類	a (n)	± (n) I	e2 (n) I	± (n) I	e2 (n) I	-		(イ) ロックウール保温材 (ロ) グラスウール保温材 (n) ポリスチレンフォーム保温材 (ニ) 簡易保温管 1 0 mm (ハ) 簡易保温管 2 0 mm (n) 簡易耐熱保温管 1 0 mm (ヒ) 簡易耐熱保温管 2 0 mm		設計図面に個別の記載があるものについてはこれによらない。 (2.3.1.1準拠) [2.3.1.1準拠]							② 総合調整 本工事に該当する工事項目に応じて、下記項目の総合調整を行い、計画書及び報告書を監督職員に提出する。 a) 風量調整 b) 水量・水圧調整 c) 室内外空気の温度の測定 d) 騒音の測定 e) 室内気流及びじんあいの測定 f) 飲料水の水質の測定 なお、季節により運転条件が異なる、使用開始から定常状態に入るまでに時間を要する等の理由により、工期内の測定完了が
横走り管の吊り及び振れ止め最大支持間隔		呼び径																																																																																																																																																																									
分類		15	20	25	32	40	50	65	80	100	125																																																																																																																																																																
吊り金物による吊り	鋼管等	2.0m					3.0m																																																																																																																																																																				
	ビニル管等	1.0m					2.0m																																																																																																																																																																				
形鋼振れ止め支持	鋼管等	—			8.0m			12m																																																																																																																																																																			
	ビニル管等	—			6.0m			12m																																																																																																																																																																			
立て管の固定及び振れ止め箇所																																																																																																																																																																											
固定	鋼管等	最下階の床又は最上階の床																																																																																																																																																																									
形鋼振れ止め支持	鋼管等	各階 1 箇所																																																																																																																																																																									
	ビニル管等	各階 1 箇所																																																																																																																																																																									
保温の種別		場所						備考																																																																																																																																																																			
工種		屋内露出	機械室・倉庫	天井・P S 内	床下暗渠内	屋外露出	屋外埋設																																																																																																																																																																				
給水	給水	e2 (n) VII	± (n) VII	e2 (n) VII	± (n) VII	e2 (n) VII	(-)	屋内空調用ドレン管は保温材付き																																																																																																																																																																			
排水	排水	e2 (n) I	± (n) I	e2 (n) I	± (n) I	e2 (n) I	± (n) I																																																																																																																																																																				
給湯	給湯	e2 (n) I	± (n) I	e2 (n) I	± (n) I	e2 (n) I	± (n) I	断熱材被覆鋼管の場合																																																																																																																																																																			
冷媒管	冷媒管	± (n) VII	± (n) VII	± (n) VII	± (n) VII	± (n) VII	± (n) VII																																																																																																																																																																				
矩形ダクト	矩形ダクト	J1 (n) X I	± (n) X I	± (n) X I	-	K3 (n) X I	-	保温材の厚さは各工種に準拠																																																																																																																																																																			
丸形ダクト	丸形ダクト	O1 (n) X I	± (n) X I	N (n) X I	-	P3 (n) X I	-																																																																																																																																																																				
弁・継手類	弁・継手類	a (n)	± (n) I	e2 (n) I	± (n) I	e2 (n) I	-																																																																																																																																																																				
(イ) ロックウール保温材 (ロ) グラスウール保温材 (n) ポリスチレンフォーム保温材 (ニ) 簡易保温管 1 0 mm (ハ) 簡易保温管 2 0 mm (n) 簡易耐熱保温管 1 0 mm (ヒ) 簡易耐熱保温管 2 0 mm		設計図面に個別の記載があるものについてはこれによらない。 (2.3.1.1準拠) [2.3.1.1準拠]																																																																																																																																																																									



附近見取図

凡例

→	キャブ 及び プラ止
(口田)	既設配管(薄線)を示す()表示口留は既設を示す
—	新設配管(濃線)を示す
—	既設配管に接続
—	撤去配管を示す(立上配管共)
□	量水器を示す
▷	流水方向を示す
○	埋設線を示す
■	撤去箇所を示す
■	アスファルト復旧箇所を示す
■	エクストラ復旧箇所を示す

工事概要

- ・耐震補強工事(建築工事)に伴う設備機器及び配管類等の撤去並びに再取付・新設を行う。
- ・今回工事により必要の無くなる機器及び配管等の撤去を行う。
- ・今回増築工事により機器の新設及び配管等の敷設を行う。

第126計建設高知市 00012号
平成26年10月15日

第一種中高層住居専用地域
(18,766.07㎡・583.29㎡・18,182.78㎡)

教育研究所
朝倉教室

配置図 S=1/500

近隣商業地域 66.93㎡

月.日	

高知市都市建設部公共建築課

係	係長	課長補佐	課長
河	戸田	村	松本

株式会社 掛水環境研究所
高知市南久万204番地 TEL 875-5812
FAX 826-7136

設計年月日
2015.3
設計
宇賀龍介

承認
検図
掛水洋一郎

工事名称
高知市立朝倉第二小学校給食調理場耐震補強に伴う機械設備工事
図面名称
配置図・附近見取図・工事概要
縮尺
S=1:500

図面番号
M-03

撤去衛生機器以外

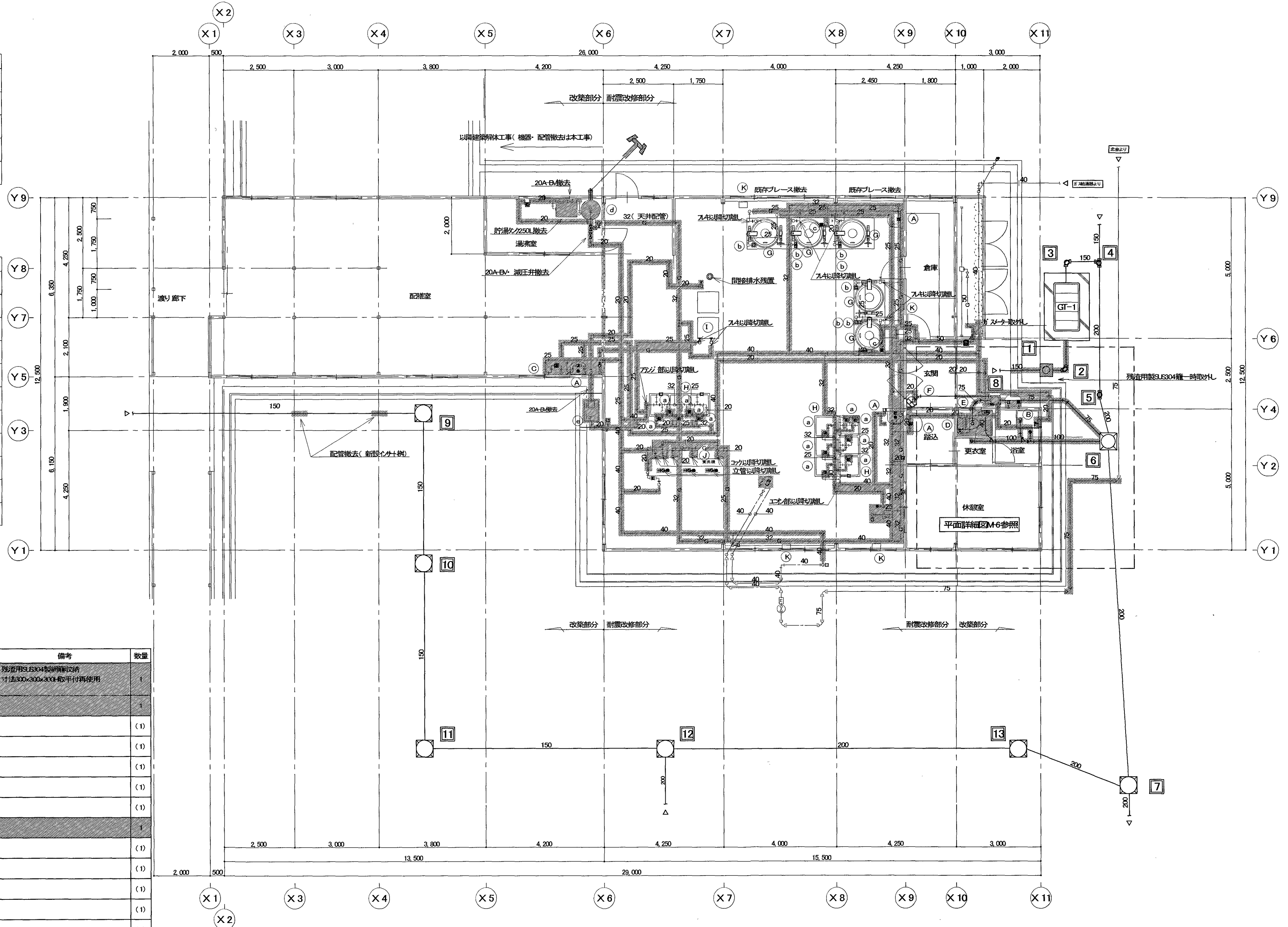
記号	器具名称	摘要	参考型番	数量
a	レバー式混合水栓	3 槽シンク × 3 + 3 台付22レバー RJ1/2	TKJ23UR	12
b	レバー式給水栓	回転蓋 ×1 + 3		8
c	レバー式給湯栓			2
d	ガス貯湯式給湯器	機器及び周辺機材撤去処分 φ120排突LS共撤去GL+4500	YK2102SL	1
e	真空冷却器用 給水ポンプ	ポンプ基礎 残置	THF5-40GS	1

取外し衛生機器以外

記号	器具名称	摘要	参考型番	数量
A	スタッフ用手洗器	電気温水器3L及び機器付属品一式	LS850CPA	4
B	スタッフ用手洗器	ハンドル式	L30DM	1
C	平洗い場			1
D	洋風便器	ロタンク: 取外し	CS597EMS S-596BAYR	1
E	トイレ手洗い		LSL870AFFR	1
F	球根皮むき器		NKP-12	1
G	回転蓋	水栓切離し 別途工事	QH-30 TRK-100G GS-32(140L)	5
H	三槽シンク	給水・給湯配管切離し 本工事		3
I	スチームベンチレーション	給水・排水配管切離し 本工事	TSCO-20QDN	1
J	食洗器	給水・給湯・排水配管切離し 本工事	NKD-22A	1
K	ガス検知器			4

樹木

記号	樹種別	深さ (L)	型式	主管口径	樹寸法	蓋種別	備考	数量
1	撤去	エゴナト樹	-800	150A	450×450	樹脂製蓋φ450	現況用LS6304製樹脂製文庫 寸法300×300×300取付再使用	1
2	撤去	ビニル製心バト樹	-590	90°-L	150A	φ150		1
3	既設	ビニル製心バト樹	-950	90°-L	150A	φ200		(1)
4	既設	ビニル製心バト樹	-1040	90°-Y	200A	φ200		(1)
5	既設	ビニル製心バト樹	-1100	ST	200A	φ200		(1)
6	既設	エゴナト樹	-1120	SO-2	200A	450×450	MHP450	(1)
7	既設	エゴナト樹	-1190	SO-3	200A	600×600	MHP600	(1)
8	撤去	エゴナト樹	-950	SO-1	150A	350×350	MHP350	1
9	既設	エゴナト樹	-860	SO-3	150A	600×600	MHP600	(1)
10	既設	エゴナト樹	-875	SO-3	150A	600×600	MHP600	(1)
11	既設	エゴナト樹	-1070	SO-3	150A	600×600	MHP600	(1)
12	既設	エゴナト樹	-1100	SO-3	150A	600×600	MHP600	(1)
13	既設	エゴナト樹	-1170	SO-3	150A	600×600	MHP600	(1)



※特記なき屋内給水・給湯・ガス配管は露出配管とし、機器立下面所まで撤去とする。
【給排水衛生設備】厨房平面図(現況・撤去図) S=1: 100

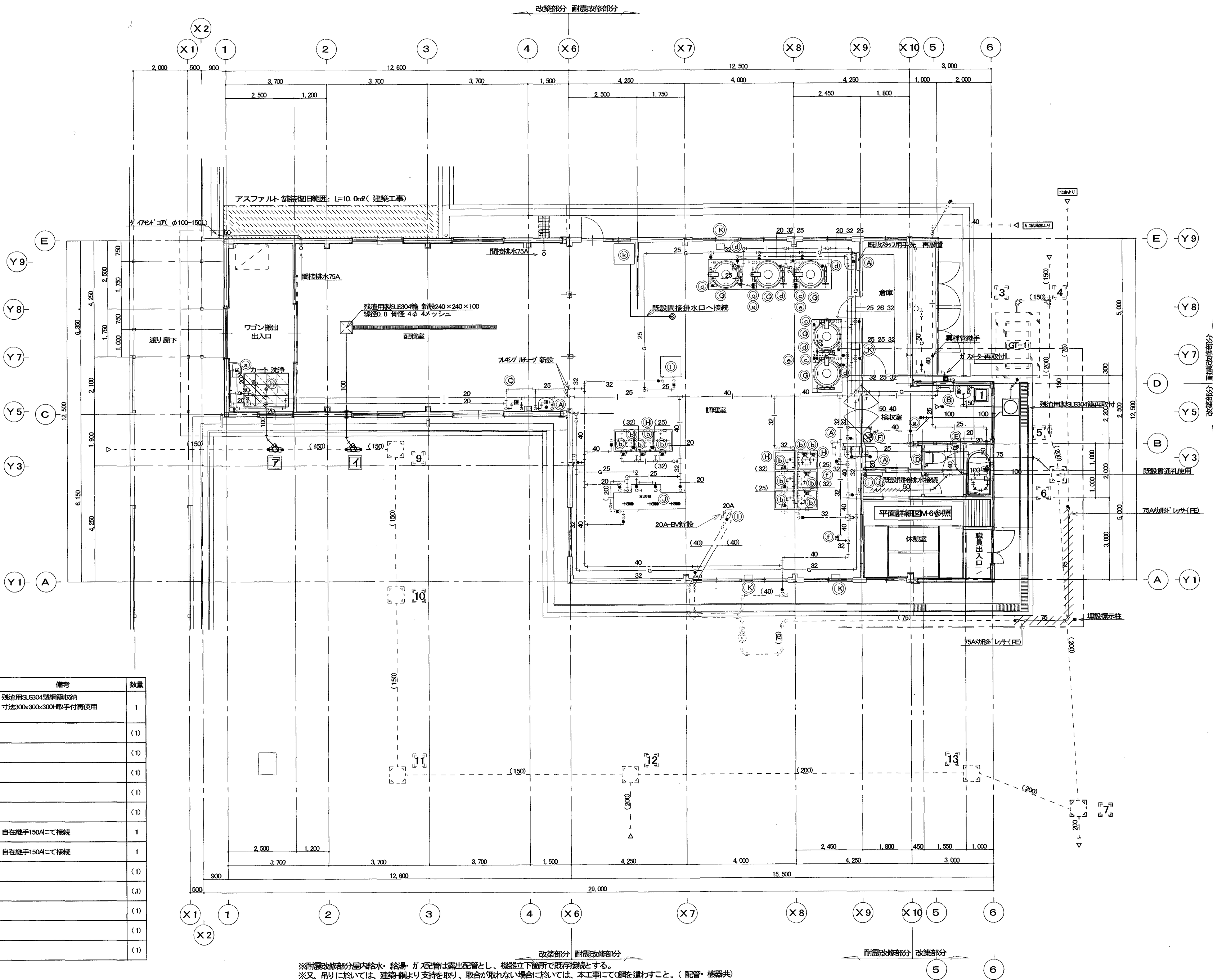
記号	器具名称	摘要	数量
㊸	スタッフ用手洗器	自動、電気温水器、壁排水 (TOTO LSE850FP (LXL) L-A101KAC	1
㊹	レバー式混合水栓	3槽シンク × 3 + 3 シングルレバー混合栓 (TOTO TKS0310J (LXL) SF-F6430SYA	12
㊺	レバー式給水栓	自在形横水栓、レバー式 泡沫、吐水口長さ300mm FUL/2 (TOTO TK133EQ3C (LXL) LF-12ZF(300)-13-U	5
㊻	レバー式給湯栓	自在形横水栓、レバー式 泡沫、吐水口長さ300mm FUL/2 (TOTO TK133EQ3C (LXL) LF-12ZF(300)-13-U	5
㊼	レバー式給水栓	自在形横水栓、レバー式 (TOTO T200ESQ3C (LXL) LF-7M4Z-13-U	3
㊽	レバー式混合水栓	壁付シングルレバー (TOTO TKS0315J (LXL) SF-VL435SY	2
㊾	床上掃除口	OCB100	1
㊿	排水目皿	D100 SUS製 JOV04 C SU	1
㊻	洗濯機パン	洗濯機パン(トラップ付)、防水 口640 (TOTO FHEP64JF2W RJ2008NW (LXL) FF-6464AC、L11、TP-31	1
㊼	洗濯機用水栓	横水栓、自在形、緊急止水 (TOTO TW1GR (LXL) LF-WJ38RHA	1
㊽	真空冷却器	配置 別途工事 排水配管接続のみ 本工事	1
㊾	水撃防止器	20A	1

記号	器具名称	摘要	数量
㊸	スタッフ用手洗器	電気温水器3L 機器付属品一式	4
㊹	スタッフ用手洗器	ハンドル式	1
㊺	平洗い場		1
㊻	洋風便器	CS597BMS SF696BAYR	1
㊼	トイレ手洗い	LSL870AFFR	1
㊽	皮剥ぎ器	NKP-12	1
㊾	回転釜	水栓接続別途工事 GHF-30 TRK-100G GHF-32(140L)	5
㊿	三槽シンク	給水・給湯配管接続	3
㊻	スチーム コンベクションオーブン	給水・排水配管接続	1
㊼	食洗器	給水・給湯・排水配管接続	1
㊽	ガス検知器		4

樹木

記号	樹種別	深さ(L)	型式	主管口径	樹寸法	蓋種別	備考	数量
1	新設	エゴノク	-590	—	150A	450×450	MP450	1
3	既設	ビニル製パイプ	-950	90° -L	150A	φ200	φ200	(1)
4	既設	ビニル製パイプ	-1040	90° -Y	200A	φ200	φ200	(1)
5	既設	ビニル製パイプ	-1100	ST	200A	φ200	φ200	(1)
6	既設	エゴノク	-1120	SO-2	200A	450×450	MP450	(1)
7	既設	エゴノク	-1190	SO-3	200A	600×600	MP600	(1)
7	新設	ビニル製パイプ	-820	90° -Y	150A	φ200	梯型蓋(ケンアップ)	1
4	新設	ビニル製パイプ	-850	90° -Y	150A	φ200	梯型蓋(ケンアップ)	1
9	既設	エゴノク	-860	SO-3	150A	600×600	MP600	(1)
10	既設	エゴノク	-875	SO-3	150A	600×600	MP600	(1)
11	既設	エゴノク	-1070	SO-3	150A	600×600	MP600	(1)
12	既設	エゴノク	-1100	SO-3	150A	600×600	MP600	(1)
13	既設	エゴノク	-1170	SO-3	150A	600×600	MP600	(1)

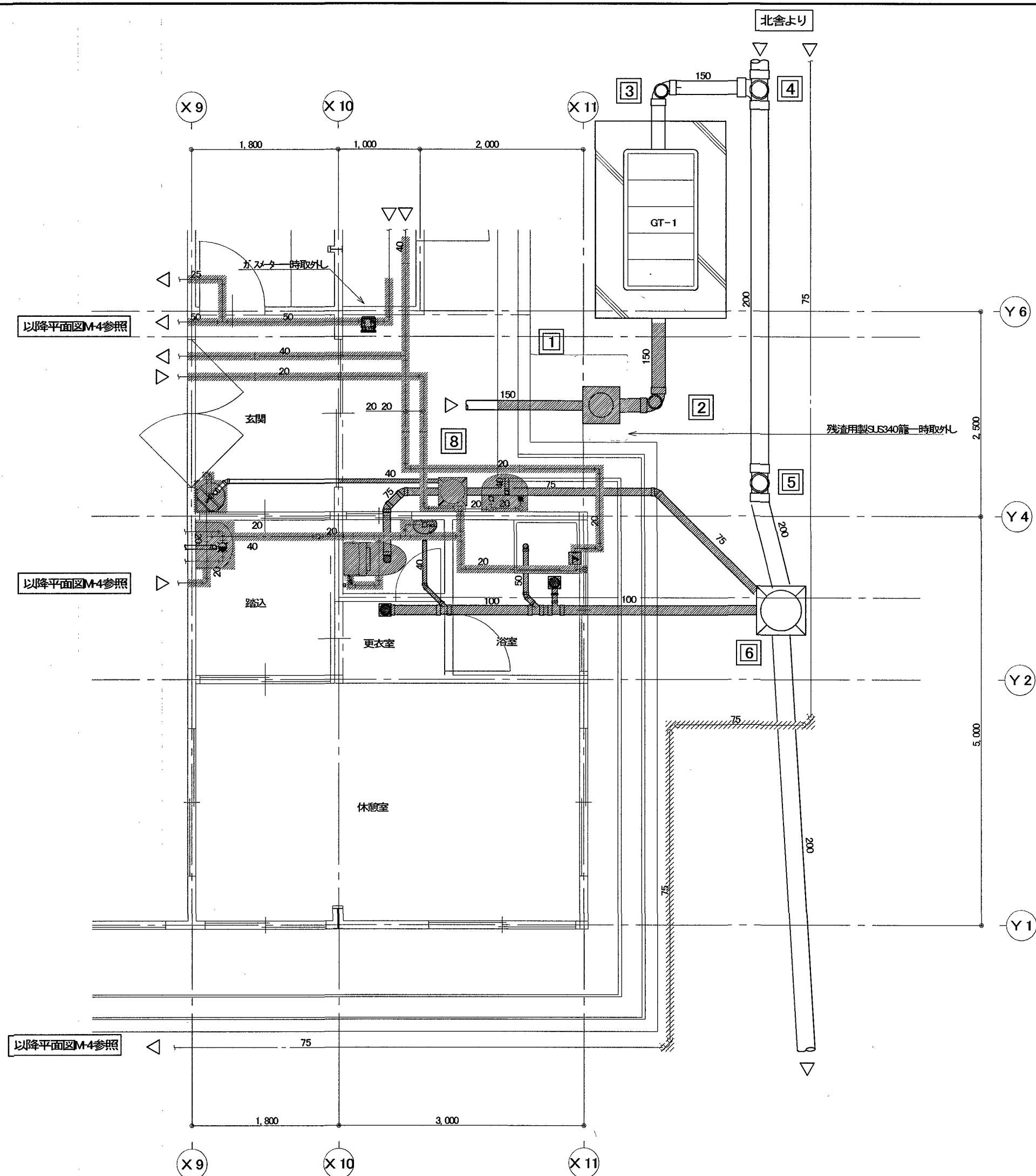
土工事範囲



月 日	係	係長	課長補佐	課長	設計年月日	承認	工事名称	図面番号
					2015. 3 .		高知市立朝倉第二小学校給食調理場耐震補強に伴う機械設備工事	M-05
					設計	検図	図面名称	縮尺
					宇賀龍介	掛水洋一郎	【給排水衛生設備】厨房平面図(改修図)	S-1: 100

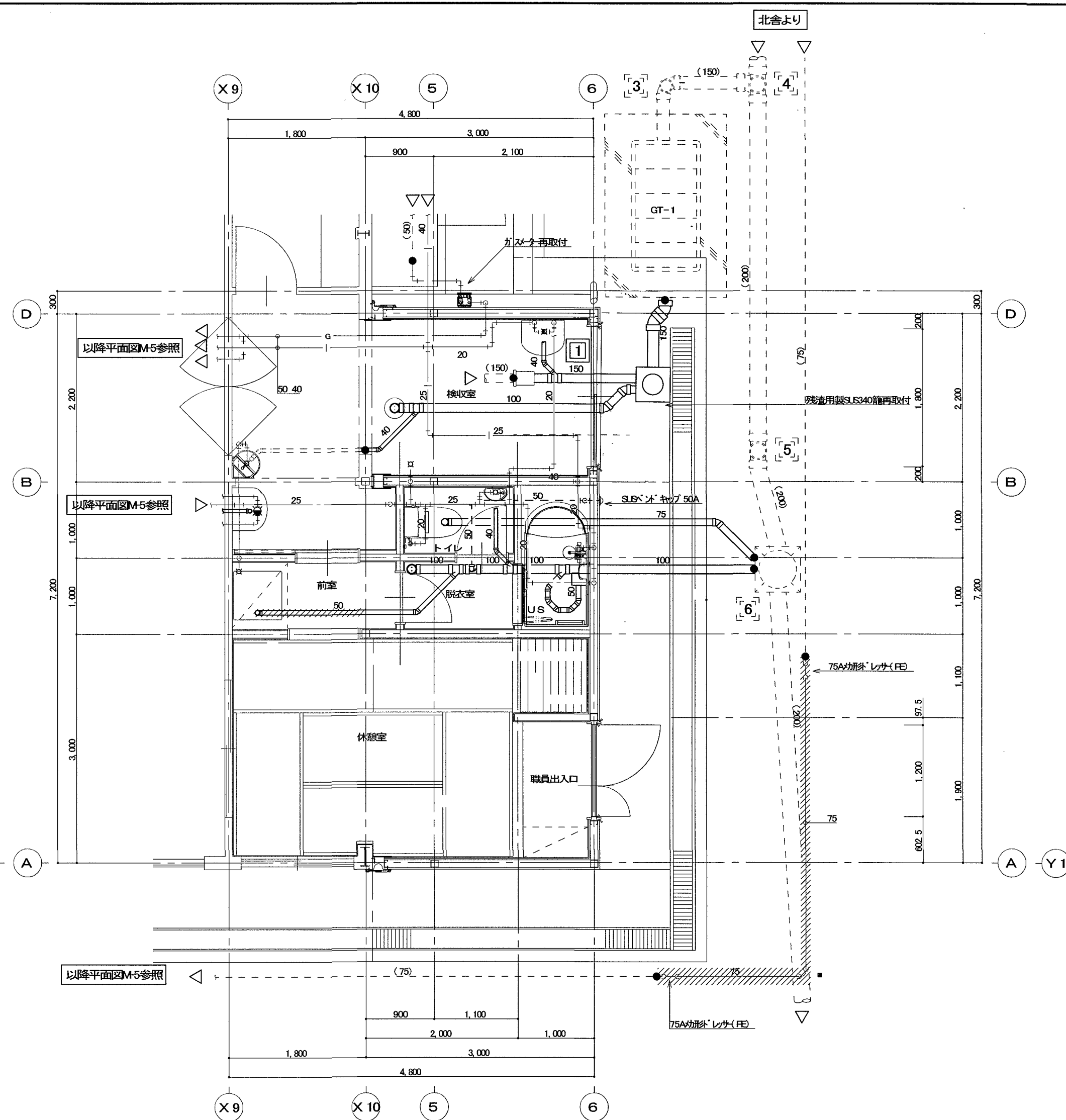
高知市都市建設部公共建築課

株式会社 掛水環境研究所
高知市南久万204番地 TEL 875-5812 FAX 826-7136



【給排水衛生設備】厨房平面詳細図(現況・撤去図) S-1: 50

改修後



土工事範囲

※土間排水配管敷設の際の溝はつり・復旧は本工事とする。床仕上げは建築工事

【給排水衛生設備】厨房平面詳細図(改修図) S-1: 50

月. 日		高知市都市建設部公共建築課	係	係長	課長補佐	課長	株式会社 掛水環境研究所 高知市南久万204番地8 TEL 875-5812 FAX 826-7136	設計年月日	承認	工事名称		図面番号 M-06
								2015. 3		高知市立朝倉第二小学校給食調理場耐震補強に伴う機械設備工事		
								設計	検図	図面名称		
								宇賀龍介	掛水洋一郎	【給排水衛生設備】厨房平面詳細図(現況・撤去・改修図)		
										縮尺		
										S=1: 50		

換気取外・撤去機器リスト

記号	機器名称	摘要	処理能力	出力	電源	備考	取外台数	撤去台数
FE 1	シロッコファン	SS #2 1/2 床置型(厨房用)	換気 6,000 m ³ /h	1.5 kW	1φ-200V	機器付属品及び天吊防振架台共取外 キャンバス外・ウゼーカバー(防鳥網共)共	1	-
FE 2	有圧換気扇	φ300	換気 1,980 m ³ /h	50W	1φ-100V	ウゼーカバー 取付枠共1台取外・1台撤去	1	1
FE 3	標準換気扇	φ200	—	—	〃	ウゼーカバー 取付枠共撤去	-	1
FE 4	標準換気扇	φ300	—	—	〃	ウゼーカバー 取付枠共取外	10	-

換気再取付新設機器リスト

記号	機器名称	摘要	処理能力	出力	電源	備考	再取付台数	新設台数
FE 1	シロッコファン	SS #2 1/2 天吊型(厨房用)	換気 6,000 m ³ /h	1.5 kW	1φ-200V	機器付属品・キャンバス外及び天吊防振架台共再取付 外・ウゼーカバー(防鳥網共)再取付	1	-
FE 2	有圧換気扇	φ300	換気 1,980 m ³ /h	50W	1φ-100V	ウゼーカバー 取付枠共再取付	1	-
FE 3	天井換気扇 24時間換気	φ100	換気 77m ³ /h×10Pa以上(強) 47m ³ /h×10Pa以上(弱)		〃	φ100SUS深型ベントキャップ(防鳥網共) 振止金具、強弱切替付24時間換気コントロールスイッチ共	-	1
FE 4	天井換気扇	φ100	換気 77m ³ /h×10Pa以上(強) 47m ³ /h×10Pa以上(弱)		〃	φ100SUS深型ベントキャップ(防鳥網共) 振止金具共	-	1
FE 5	標準換気扇	φ300	換気 1,980 m ³ /h 程度	50W	〃	ウゼーカバー 取付枠共再取付	10	-
FE 6	有圧換気扇 24時間換気	低騒音SUSφ300	換気 580 m ³ /h ×3Pa	17.5kW	〃	φ300ウゼーカバー(防鳥網)・絶縁枠共 24時間換気コントロールスイッチ共	-	1
OA 1	自然給気口	φ100 格子形				風量調整機構、フィルタ付 屋外：深型フード(焼付塗装品)、水切 防虫網付共	-	1

取外・再設置給排気フード			
記 号	使用器具	フー ド 仕 様	備 考
A	食器洗濯機	処理風量：6,700 m ³ /h	
	(取外・再設置)	寸法：3,600 × 1,700 × H=600	
		SUS-304、板厚:1.0mm、ヘアライン仕上げ	
		振れ止め金物設置	
B	回転釜 × 3	処理風量：11,100 m ³ /h	
	(取外・再設置)	寸法：5,400 × 1,900 × H=700	
		SUS-304、板厚:1.0mm、ヘアライン仕上げ、ドレンコック取付	
		振れ止め金物設置	
C	回転釜 × 2	処理風量：7,700 m ³ /h	
	(取外・再設置)	寸法：3,560 × 2,000 × H=600	
		SUS-304、板厚:1.0mm、ヘアライン仕上げ、ドレンコック取付	
		振れ止め金物設置	
D	スチームコンベクションオーブン	処理風量：3,300 m ³ /h	
	(取外・再設置)	寸法：2,000 × 1,500 × H=600	
		SUS-304、板厚:1.0mm、ヘアライン仕上げ	
		振れ止め金物設置	

特記事項

・機器風量、静圧は記入値以上とする。

・24時間換気スイッチと24時間換気バルブは電気設備工事業者に無償支給する。

・屋外フード排気用は防鳥網(5メッシュ)とし、給気用は防虫網(10メッシュ)を使用する。

・排気フードは、換気運転時にたわまないよう必要に応じて、補強材を取付けること。

・外壁貫通部については、コキングを行い雨仕舞いには特に注意して施工する事。

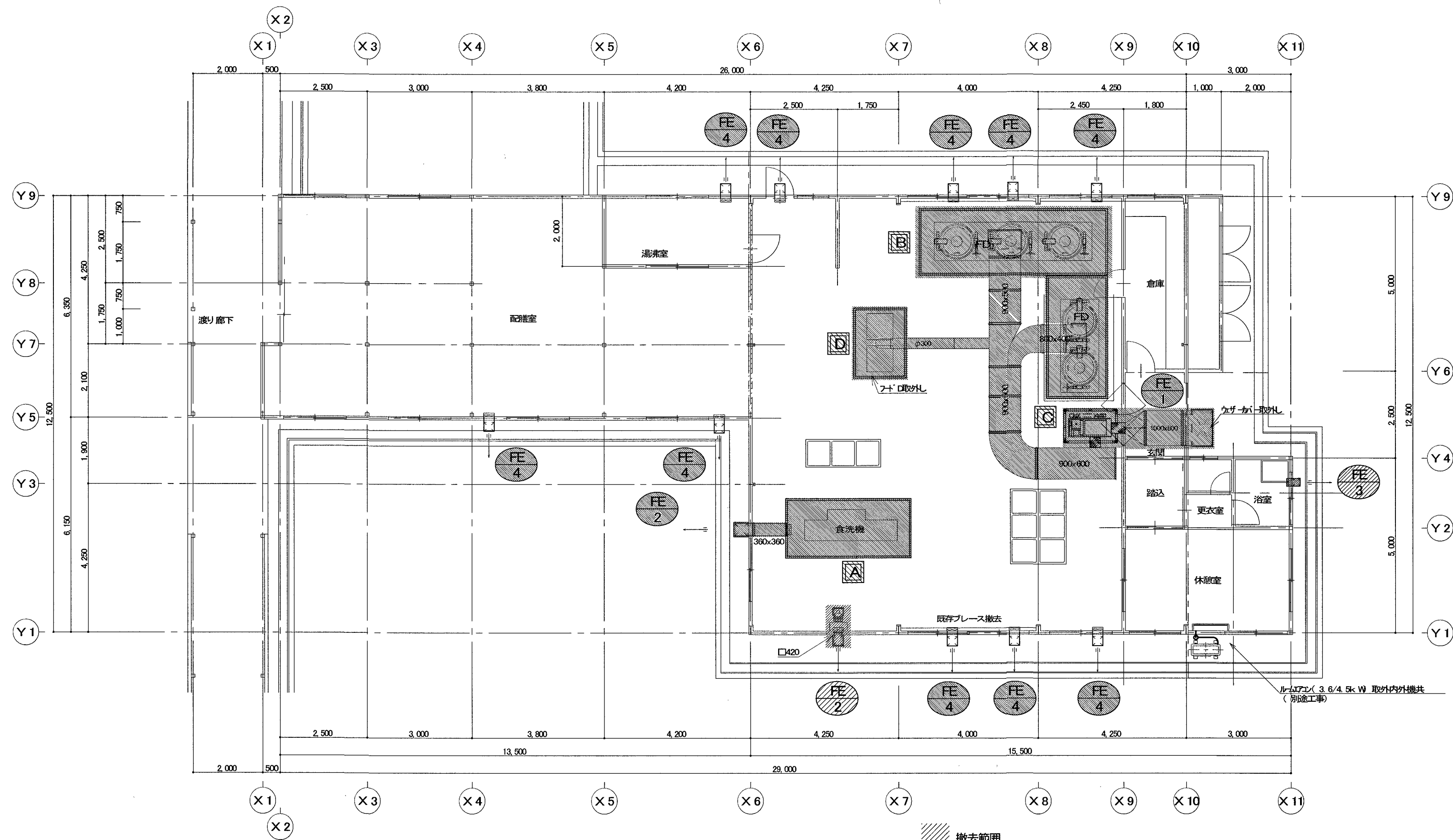
・給気口取付等による天井開口補強は、建築工事とする。

・天井内埋込機器はスプリング式防振吊り金具、振れ止め金具を取付けること。

・24時間コントロールスイッチの取付及びその他換気扇のON-OFFスイッチの新設は、別途電気工事とする。

○

注) 図中の記号2重丸は24時間換気使用機器を示す



【換気設備】厨房平面図(現況・撤去図) S=1: 100

既設	器具名称	ﾌﾟﾛｯｸ及び開口寸法	台数	備考
	食器洗浄機×1台	3,600(W)×1,700(D)	1	取外し
	回転釜×3台	5,400(W)×1,900(D)	1	取外し
	回転釜×2台	3,560(W)×2,000(D)	1	取外し
	オープン×1台	2,000(W)×1,500(D)	1	取外し

撤去範囲
取外し範囲

